

【トピックス1】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費(全体):2,949百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり  
直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川)

事業促進

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きて浸水被害を発生させないよう、平成17年度より、広島市安佐北区の筒瀬、宇津地区及び安芸太田町の坪野地区、平成18年度補正予算により、広島市安佐北区今井田地区の合計4地区において築堤等の改修に着手しました。

平成19年度よりこれらの地区に加えて、太田川の中・上流域において

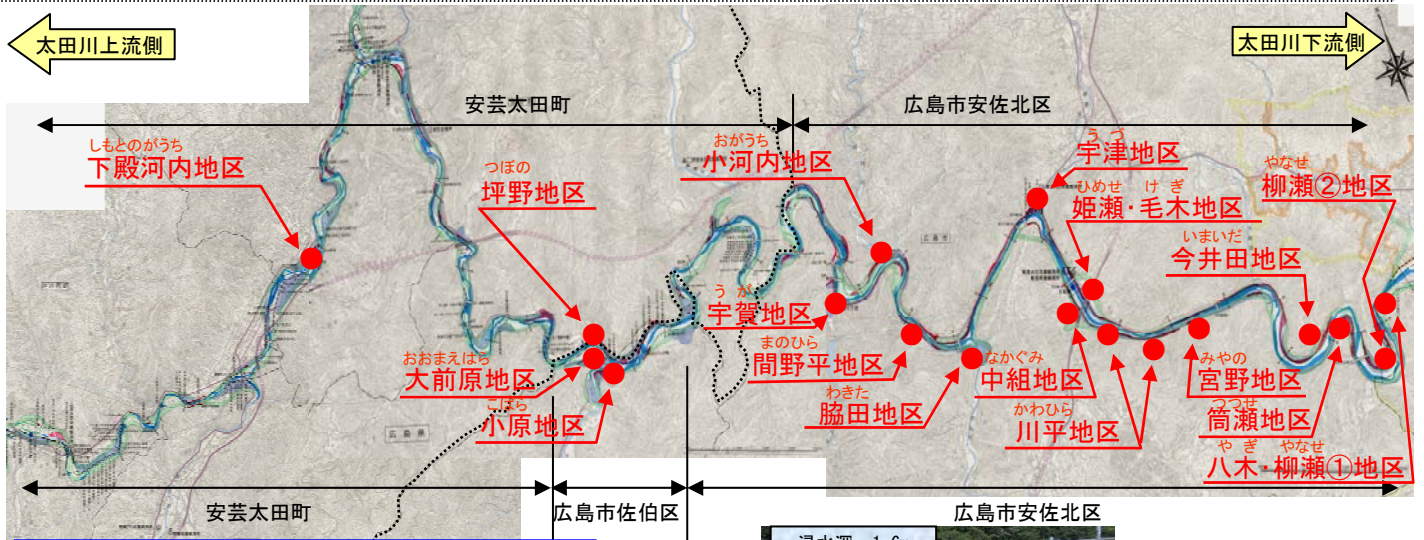
- ① 家屋の床上浸水被害が発生した地区
- ② 要援護者支援施設の浸水被害が発生した地区
- ③ 避難所が浸水した地区

について一般の河川改修事業よりさらに早期の整備が可能となる「直轄床上浸水対策特別緊急事業」の採択を受け、平成19年度より概ね5ヶ年で広島市安佐南区1箇所・安佐北区13箇所・佐伯区2箇所・安芸太田町の2箇所、計18箇所において、輪中堤、河道の掘削等を実施します。

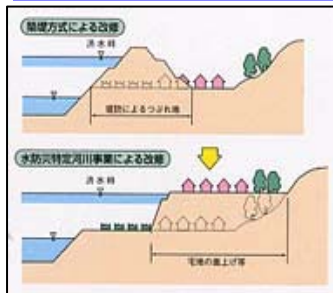
事業の実施については、再度災害の防止を図るとともに、環境や生態系に配慮した整備を行っていきます。

平成21年度は、広島市安佐北区八木・柳瀬①地区、柳瀬②地区、宮野地区、中組地区、姫瀬・毛木地区、宇津地区、脇田地区、間野平地区、小河内地区、宇賀地区、佐伯区小原地区、大前原地区、安芸太田町下殿河内地区の13地区において、事業用地取得、工事等を実施します。また、その他の地区については、設計、地元調整を実施します。

総事業費は、約137億円を見込んでいます。



山間狭窄部・無堤地区の早期対策



期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。家屋浸水被害の解消：157戸(内、床上浸水116戸・床下浸水41戸)、60ha

## 【トピックス2】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費:199百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川) 広島市安佐北区八木・柳瀬地区

事業促進

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きて浸水被害を発生させないよう、平成19年度より概ね5ヶ年で太田川・中上流域計18箇所において、輪中堤、河道の掘削等を実施します。

八木・柳瀬地区については、床上浸水家屋が3戸・床下浸水家屋5戸・事業所の浸水2棟の被害が発生した地区で、平成20年度から新規着手し、設計、地元・関係機関協議を行っています。

平成21年度は河道掘削等を実施し、平成23年度完成を目指します。



### 期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。  
浸水家屋8戸・事業所浸水2棟が解消

## 【トピックス3】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費:146百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川) 広島市安佐北区柳瀬②地区

事業促進

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きても浸水被害を発生させないよう、平成19年度より概ね5ヶ年で太田川・中上流域計18箇所において、輪中堤、河道の掘削等を実施します。

柳瀬②地区については、床上浸水家屋が1戸・床下浸水家屋2戸・事業所の浸水5棟の被害が発生した地区で、平成20年度から新規着手し、設計、地元協議並びに工事着手を行っています。

平成21年度は引き続き輪中堤の建設を実施し、平成22年度完成を目指します。



### 期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。  
浸水家屋3戸・事業所浸水5棟が解消

## 【トピックス4】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費:82百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川) 広島市安佐北区宮野地区

新規着手

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きても浸水被害を発生させないように、平成19年度より概ね5ヶ年で太田川・中上流域計18箇所において、輪中堤、河道の掘削等を実施します。

宮野地区については、床上浸水家屋が3戸・事業所の浸水1棟の被害が発生した地区で、平成21年度から新規着手します。

平成21年度は設計、地元・関係機関協議、事業用地取得を実施し、平成23年度の完成を目指します。



### 期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。  
浸水家屋3戸・事業所浸水1棟が解消

## 【トピックス5】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費:112百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川) 広島市安佐北区中組地区

新規着手

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きて浸水被害を発生させないよう、平成19年度より概ね5ヶ年で太田川・中上流域計18箇所において、輪中堤、河道の掘削等を実施します。

中組地区については、床上浸水家屋が2戸・床下浸水家屋3戸・事業所の浸水2棟の被害が発生した地区で、平成21年度から新規着手します。

平成21年度は地元・関係機関協議、事業用地取得、輪中堤工事を実施し、平成23年度の完成を目指します。

撮影:平成17年11月



### 期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。  
浸水家屋5戸・事業所浸水2棟が解消

## 【トピックス6】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費:179百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川) 広島市安佐北区姫瀬・毛木地区

事業促進

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きて浸水被害を発生させないよう、平成19年度より概ね5ヶ年で太田川・中上流域計18箇所において、輪中堤、河道の掘削等を実施します。

柳瀬②地区については、床上浸水家屋が6戸・床下浸水家屋5戸・事業所の浸水3棟の被害が発生した地区で、平成20年度から新規着手し、設計、地元協議並びに工事着手を行っています。

平成21年度は引き続き輪中堤の建設を実施し、平成23年度完成を目指します。



### 期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。  
浸水家屋11戸・事業所浸水3棟が解消

## 【トピックス7】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費:97百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川) 広島市安佐北区宇津地区

事業完了

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きても浸水被害を発生させないように、平成19年度より概ね5ヶ年で太田川・中上流域計18箇所において、輪中堤、河道の掘削等を実施します。

宇津地区については、床上浸水家屋20戸・床下浸水家屋6戸・事業所の浸水1棟の被害が発生し、対象箇所の中でも被害の大きかった地区の一つで、平成17年度から着手し、設計、地元協議を実施し、堤防建設にネックとなる旧JR飯室川鉄橋の撤去を行いました。

平成21年度は道路管理者である広島市一体となって、県道宇津可部線宇津橋の新橋上部工の建設及び取付道路を実施し、平成21年度中の完成を目指します。



### 期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。  
浸水家屋26戸・事業所浸水1棟が解消

## 【トピックス8】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費:52百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川) 広島市安佐北区脇田地区

新規着手

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きて浸水被害を発生させないよう、平成19年度より概ね5ヶ年で太田川・中上流域計18箇所において、輪中堤、河道の掘削等を実施します。

中組地区については、床上浸水家屋が2戸・床下浸水家屋2戸の被害が発生した地区で、平成21年度から新規着手します。

平成21年度は地元・関係機関協議、事業用地取得、輪中堤工事を実施し、平成22年度の完成を目指します。

撮影:平成17年11月



### 期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。  
浸水家屋4戸が解消



## 【トピックス9】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費:526百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川) 広島市安佐北区間野平地区

事業促進

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きて浸水被害を発生させないように、平成19年度より概ね5ヶ年で太田川・中上流域計18箇所において、輪中堤、河道の掘削等を実施します。

間野平地区は、床上浸水家屋が15戸・床下浸水家屋1戸・避難所の浸水被害が発生した地区で、平成19年度より新規に着手し、設計、地元・関係機関協議、護岸工事を行っています。

平成21年度は工事を推進し、平成23年度の完成を目指します。

工事進捗状況



撮影:平成21年3月



最大



事業対象区間 L=850m

中国電力  
間野平発電所

太田川

一般国道191号

撮影:平成17年11月

間野平会館

### 期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。  
浸水家屋16戸・避難所浸水1箇所が解消

## 【トピックス10】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費:377百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川) 広島市安佐北区小河内地区

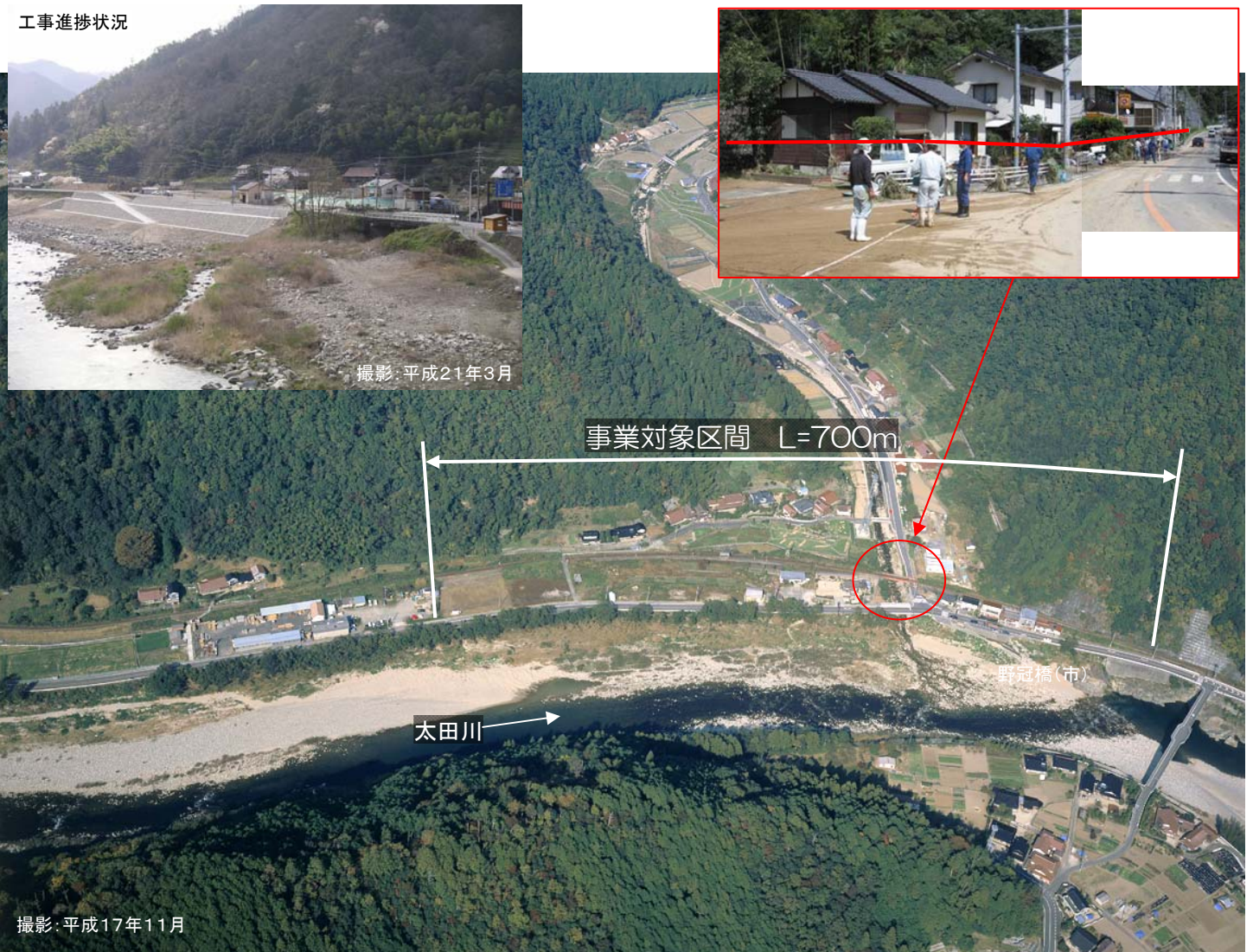
事業促進

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きても浸水被害を発生させないように、新規事業として太田川・中上流域で輪中堤の建設や、河道の掘削等を実施していきます。

小河内地区は、床上浸水家屋が7戸・床下浸水家屋1戸・避難所の浸水被害及び事業所の浸水1棟の被害が発生した地区で、平成19年度より新規に着手し、設計、地元協議、護岸工事の着手を行っています。

平成21年度は道路管理者である広島市一体となって、国道191号の道路改良及び小浜橋架替工事、輪中堤工事等を推進し、平成23年度の完成を目指します。

工事進捗状況



### 期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。  
浸水家屋8戸・避難所浸水1箇所が解消

## 【トピックス11】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費:318百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川) 広島市安佐北区宇賀地区

事業促進

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きて浸水被害を発生させないように、新規事業として太田川・中上流域で輪中堤の建設や、河道の掘削等を実施していきます。

宇賀地区は、床上浸水家屋が9戸・床下浸水家屋3戸の被害が発生した地区で、平成19年度より新規に着手し、設計、地元協議、河床掘削工事の着手を行っています。

平成21年度は工事の推進並びに事業用地取得を実施し、平成23年度完成を目指します。



### 期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。  
浸水家屋12戸が解消

## 【トピックス12】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費:139百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川) 広島市佐伯区小原地区

事業完了

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きても浸水被害を発生させないように、平成19年度より概ね5ヶ年で太田川・中上流域計18箇所において、輪中堤、河道の掘削等を実施します。

小原地区については、床上浸水家屋が2戸・床下浸水家屋2戸の被害が発生した地区で、平成19年度から新規着手し、設計、地元協議、護岸工事の着手を行っています。

平成21年度は引き続き築堤護岸工事を推進し、平成21年度中の完成を目指します。

工事進捗状況



### 期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。  
浸水家屋7戸・事業所浸水4棟が解消

## 【トピックス13】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費:133百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川) 広島市佐伯区大前原地区

事業促進

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きても浸水被害を発生させないよう、平成19年度より概ね5ヶ年で太田川・中上流域計18箇所において、輪中堤、河道の掘削等を実施します。

大前原地区については、床上浸水家屋が5戸・床下浸水家屋2戸の被害が発生した地区で、平成20年度から新規着手し、設計、地元協議、護岸工事の着手を行っています。

平成21年度は引き続き用地買収及び築堤護岸工事を推進し、平成22年度中の完成を目指します。



### 期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。  
浸水家屋7戸・事業所浸水6棟が解消

## 【トピックス14】(太田川・中上流域での浸水被害対策の推進)

事業費:556百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 直轄床上浸水対策特別緊急事業(太田川) 広島県山県郡安芸太田町下殿河内地区

事業促進

平成17年9月の台風14号による洪水は、観測史上最高の水位を記録し、床上浸水をはじめとする被害が沿川で多く発生しました。この洪水と同程度の洪水が再度起きて浸水被害を発生させないよう、平成19年度より概ね5ヶ年で太田川・中上流域計18箇所において、輪中堤、河道の掘削等を実施します。

下殿河内地区については、事業所の浸水1棟の被害が発生した地区で、当該箇所には老人ホーム、避難場所となる殿賀小学校、病院等があり、要援護者支援対策、避難者の2次災害の防止対策として、再度災害の防止を図る目的で平成20年度から用地買収及び築堤護岸工事に着手しています。

平成21年度は引き続き用地買収及び築堤護岸工事を実施し、平成23年度完成を目指します。



### 期待される整備効果

平成17年の台風14号と同じ規模の洪水に対して、浸水被害の発生を防ぎます。  
事業所浸水1棟、要援護者支援施設(老人ホーム、小学校、病院)の浸水被害が解消

## 【トピックス15】(広島市内派川における高潮堤防の建設)

事業費(市内派川全体):652百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

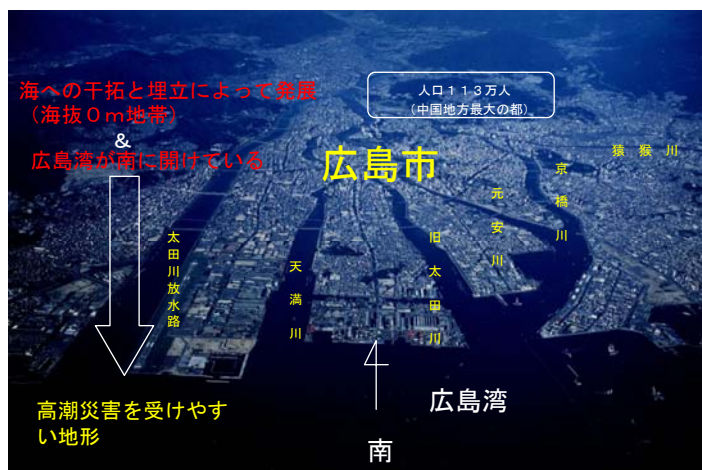
### 広島市街地の高潮対策

事業促進

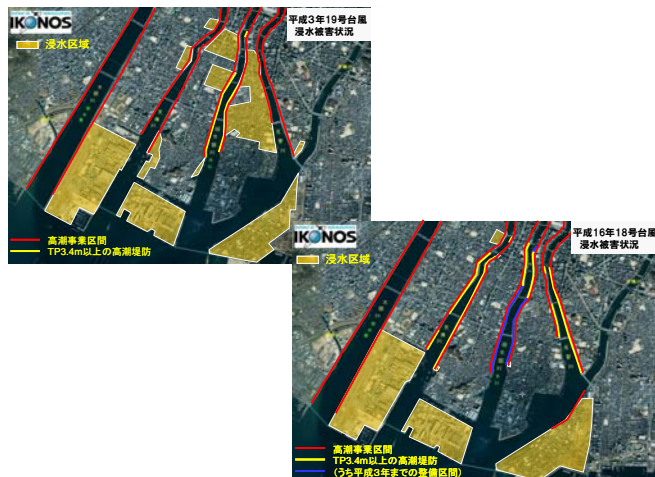
広島デルタに発達した広島市街地は、ひとたび高潮による浸水被害を受けた場合には甚大な被害が発生します。このため、高潮堤防により広島デルタを守ることを目的として、県、国が連携して高潮対策事業を実施しています。

平成16年の台風18号では、江波観測所において、観測史上最高の潮位(TP+2.96m)を記録し、広島市内に甚大な浸水被害をもたらしました。

平成21年度は、平成16年台風18号で浸水被害があった、天満川東観音地区及び、同観音本町地区の観音橋撤去箇所を重点的に整備を図ります。



### 高潮堤防整備による効果



高潮堤防に合わせ河岸緑地の整備



平成16年台風18号(天満川観音箇所)

### 期待される整備効果

広島市街地に大きな浸水被害をもたらした平成3年、平成11年、平成16年の高潮が再び発生した場合にも浸水被害の発生を防ぐとともに、整備された高潮堤防沿いには広島市により河岸緑地帯が順次整備され、「水の都」にふさわしい都市空間が形成されます。

## 【トピックス16】(広島市内派川における高潮堤防の建設)

事業費:477百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 太田川高潮対策事業(天満川東観音町地区)

事業促進

広島市街地は平成3年台風19号、平成11年台風18号及び平成16年台風18号により、大きな被害を受けてきました。

特に、観音本町～東観音町の新観音橋から観船橋の区間は平成3年、16年と浸水被害が発生してます。

平成21年度は、平成19、20年度で整備済みの区間(観音本町)の上流側200mについて高潮堤防建設と堤防耐震対策を推進し、平成22年度の完成(暫定形)を目指します。



平成16年台風18号(天満川観音箇所)



平成16年台風18号(天満川観音箇所)

### 期待される整備効果

広島市街地に大きな浸水被害をもたらした平成3年、平成11年、平成16年の高潮が再び発生した場合にも浸水被害の発生を防ぐとともに、整備された高潮堤防沿いには広島市により河岸緑地帯が順次整備され、「水の都」にふさわしい都市空間が形成されます。



## 【トピックス17】(広島市内派川における高潮堤防の建設)

事業費:175百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

### 太田川高潮対策事業(天満川観音本町地区)

新規着手、事業完了

広島市街地は平成3年台風19号、平成11年台風18号及び平成16年台風18号による高潮で大きな被害を受けてきました。

また、広島市が管理している観音橋は、老朽化が激しく平成14年より通行止めになっていましたが、平成18年度に撤去されました。

平成21年度は、平成20年度の左岸側工事に引き続いて、右岸側箇所の高潮堤防建設と堤防耐震対策に着手し、平成21年度内の完成を目指します。



### 期待される整備効果

広島市街地に大きな浸水被害をもたらした平成3年、平成11年、平成16年の高潮が再び発生した場合にも浸水被害の発生を防ぐとともに、整備された高潮堤防沿いには広島市により河岸緑地帯が順次整備され、「水の都」にふさわしい都市空間が形成されます。

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

## 根谷川改修事業

事業促進

根谷川沿川は、広島市安佐北区可部町の中心市街地を流れており、その氾濫域には、陰陽を結ぶ国道54号や191号、JR可部線、安佐北区役所を始めとする主要公共施設が建ち並んでいます。根谷川改修は、平成5年度までに本川合流点から3.4kmの改修が完了していますが、十分な河川断面がないため、計画流量の約20%程度と極めて低い状況にあります。

平成18年9月の秋雨前線に起因する洪水では、観測史上最高の洪水となり、改修が行われていない区間の一部で道路が冠水するなどの被害が発生しました。

またこの洪水で、住民に避難勧告が出されました。

平成20年度までに河川拡幅の支障となる可部高校の移転補償を完了したことから、平成21年度より上流部の用地補償等に着手します。



### 期待される効果

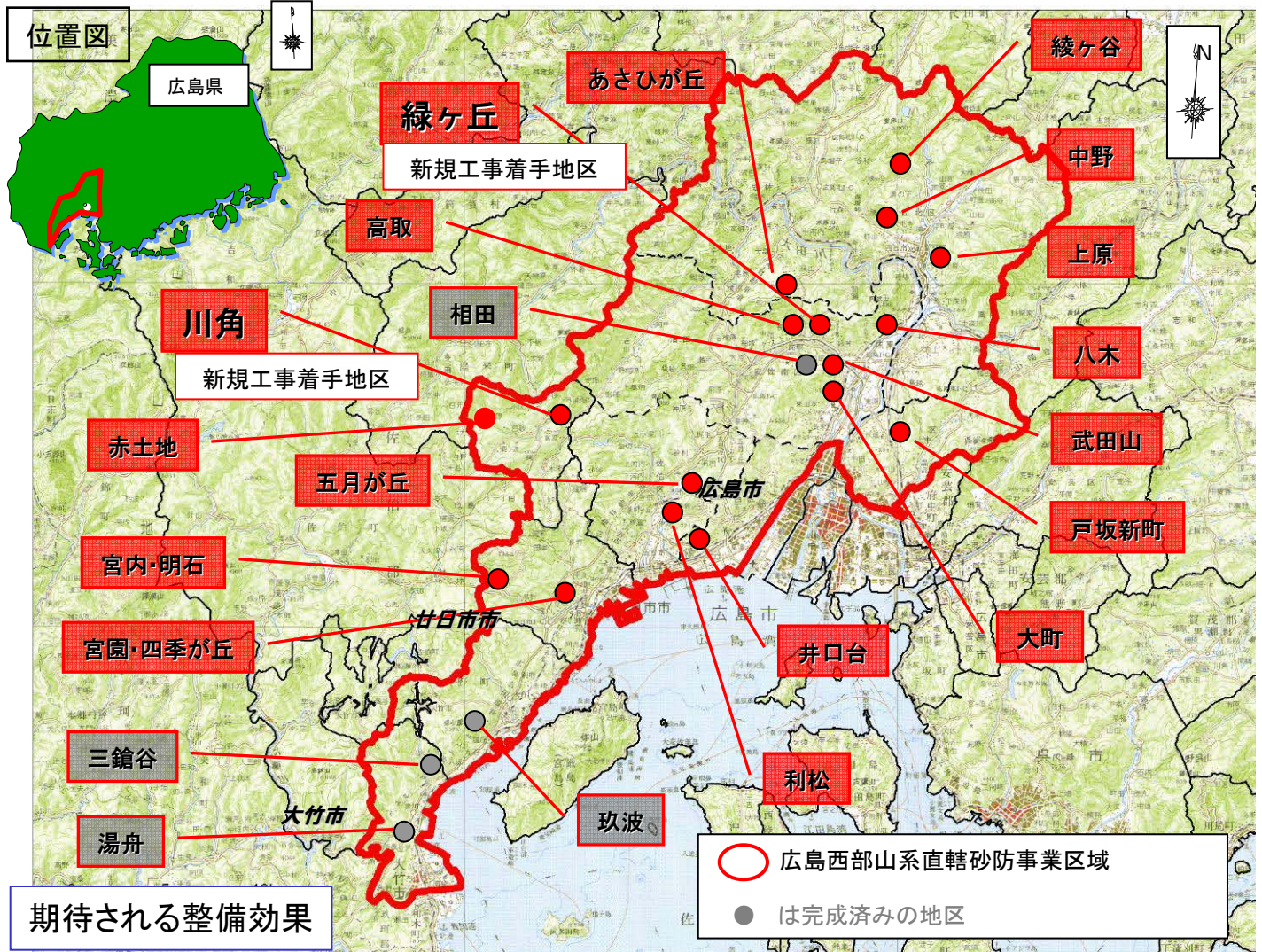
可部高校移転が完了する平成21年度より、根谷川本川の改修が可能となり、改修完了後は、山陰・山陽を結ぶ国道54号や191号、JR可部線、安佐北区役所を始めとする主要公共施設などを洪水の被害から守ることができます。

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

広島西部山系直轄砂防事業

事業促進

- ・平成11年6月29日に発生した広島市を中心とする大規模な土砂災害を契機に、平成13年度より広島西部山系直轄砂防事業に着手し、現在までに4地区が完成しています。
- ・広島西部山系直轄事業区域内(広島市・廿日市市・大竹市の一部)において人家及び山陽自動車道、山陽新幹線等重要交通網を保全するため、土砂移動現象の抑制等による災害の防止・軽減を図り自然・社会環境にも考慮した総合的な土砂災害防止対策を展開しています。
- ・平成21年度は、川角地区及び緑ヶ丘地区において新規に工事着手するとともに井口台地区など3地区において新規に用地買収に着手します。さらに、大町地区、宮園・四季が丘地区など12地区において継続して砂防施設の整備を進め、計17地区において砂防事業を推進する予定です。
- ・また、警戒避難基準の精度向上に向けた調査・検討の継続、各種情報の発信・提供、出前講座等による住民の防災意識の向上などのソフト対策を砂防堰堤等の施設を整備するハード対策と連携して推進します。



期待される整備効果

平成13年度より新規着手した広島西部山系直轄砂防事業は、西日本の中心的都市である広島市等において、ハード・ソフト両面から土砂災害対策を集中的かつ強力に推進し、安全で安心して暮らせる地域を形成します。

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり  
**広島西部山系直轄砂防事業**

みどりがおか  
**(緑ヶ丘地区)**

**新規工事着手**

- ・広島市安佐南区上安に位置する緑ヶ丘地区は、地区内4溪流に砂防えん堤4基を整備し、下流に位置する小学校や住宅地等を土石流から守ります。
- ・平成20年代の地区全体での整備完了を目指し、事業を推進しています。
- ・平成21年度は工事用・管理用道路の工事に着手する予定です。

全 景



**期待される整備効果**

土石流危険溪流の直下流に人家や学校等の公共施設が位置している緑ヶ丘地区において、土石災害対策を集中的かつ強力に推進し、安全で安心して暮らせる地域を形成していきます。

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり かわすみ  
広島西部山系直轄砂防事業 (川角地区)

新規工事着手

- ・広島市佐伯区湯来町に位置する川角地区は、地区内の1溪流に砂防えん堤2基を整備し、下流に位置する住宅地等を土石流から守ります。
- ・平成20年代の地区全体(砂防えん堤2基)での整備完了を目指し、事業を推進しています。
- ・平成21年度は工事用・管理用道路や川角2号砂防えん堤の工事に着手する予定です。



期待される整備効果

土石流危険溪流の直下流に人家や国道等の公共施設が位置している川角地区において、土石災害対策を集中的かつ強力に推進し、安全で安心して暮らせる地域を形成していきます。

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり  
**広島西部山系直轄砂防事業**      なかの  
**(中野地区)**

事業促進

- ・広島市安佐北区に位置する中野地区は、地区内3溪流に砂防えん堤3基を整備し、下流に位置する災害時要援護者関連施設(緑ヶ丘静養園)や住宅地等を土石流から守ります。
- ・平成22年度の地区全体での整備完了を目指し、事業を推進しています。
- ・平成21年度は中野2号と上ヶ原砂防えん堤溪流保全工の工事を進める予定です。



期待される整備効果

土石流危険溪流の直下流に人家等や災害時要援護者関連施設が位置している中野地区において、土石災害対策を集中的かつ強力に推進し、安全で安心して暮らせる地域を形成していきます。

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり  
**広島西部山系直轄砂防事業**

おおまち  
**(大町地区)**

**事業促進**

- ・広島市安佐南区の大町地区は、地区内6溪流に砂防えん堤7基を整備し、下流に位置する中学校や住宅地等を土石流から守ります。
- ・平成20年代の地区全体での整備完了を目指し、事業を推進しています。
- ・平成21年度は用地買収を進めるとともに、大町1号と3号砂防えん堤の工事を進める予定です。

全 景

大町7号砂防えん堤 (1-9-290)

大町4号砂防えん堤 (1-9-291)

大町5号砂防えん堤 (1-9-292)

大町6号砂防えん堤 (1-9-968)

大町3号砂防えん堤 (1-9-969)

大町2号砂防えん堤 (1-9-970)

大町1号砂防えん堤

大町小学校

安佐南中学校

祇園北高等学校

土石流想定氾濫区域

整備イメージ  
 大町3号砂防えん堤

工事の様子 (H21.2)  
 (大町1号砂防えん堤工事現場)

**期待される整備効果**

土石流危険溪流の直下流に人家や学校等の公共施設が位置している大町地区において、土石災害対策を集中的かつ強力に推進し、安全で安心して暮らせる地域を形成していきます。

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり  
広島西部山系直轄砂防事業

へさかしんまち  
(戸坂新町地区)

事業促進

- ・広島市東区の戸坂新町地区は、地区内2溪流に砂防えん堤2基を整備し、下流に位置する住宅地等を土石流から守ります。
- ・平成20年代前半の地区全体での整備完了を目指し、事業を推進しています。
- ・平成21年度は戸坂新町2号砂防えん堤の工事を推進します。

整備イメージ

戸坂新町1号(左)、2号(右)砂防えん堤



期待される整備効果

土石流危険溪流の直下流に人家が位置している戸坂新町地区において、土砂災害対策を集中的かつ強力に推進し、安全で安心して暮らせる地域を形成していきます。



●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり みやそのしきがおか  
**広島西部山系直轄砂防事業 (宮園・四季が丘地区)**

事業促進

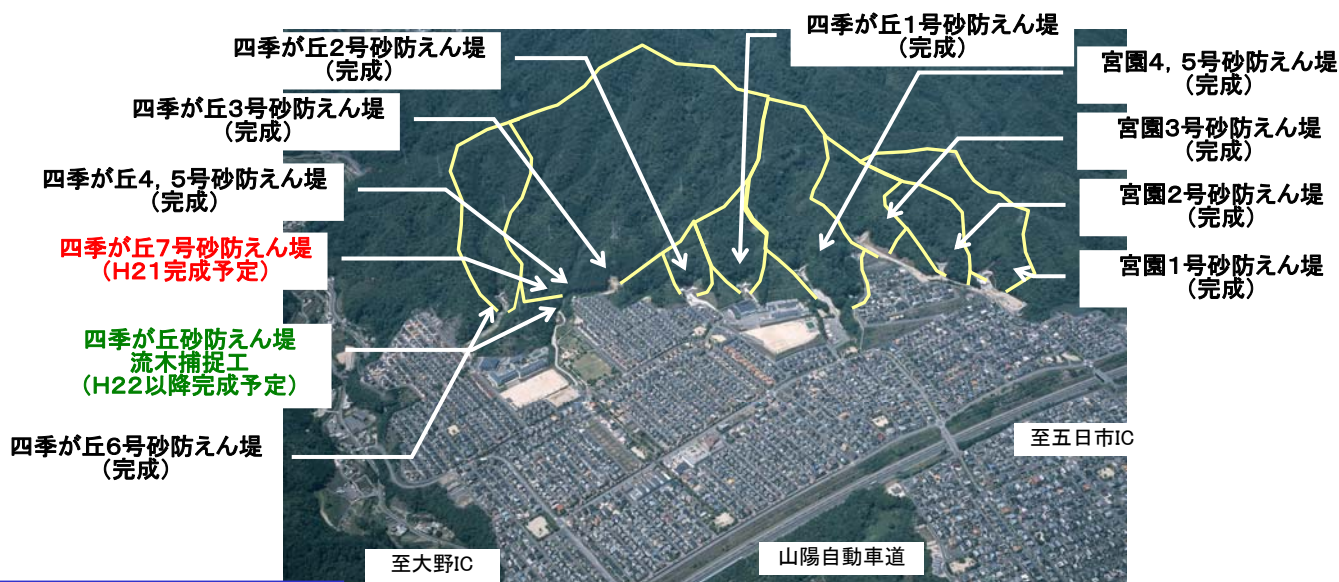
- ・廿日市市の宮園・四季が丘地区は、地区内8溪流に砂防えん堤12基を整備し、下流に位置する住宅地等を土石流から守ります。
- ・平成22年度の地区全体での整備完了を目指し、事業を推進しています。
- ・現在までに宮園1, 2, 3, 4, 5号、四季が丘1, 2, 3, 4, 5, 6号砂防えん堤の11基を完成させました。
- ・平成21年度は四季が丘7号砂防えん堤の整備を進めます。



工事中の状況



完成後の状況



期待される整備効果

平成19年5月撮影

土石流危険溪流の直下流に多くの人家や学校等の公共施設が位置し、その下流に山陽自動車道が横断する宮園・四季が丘地区において、土砂災害対策を集中的かつ強力に推進し、安全で安心して暮らせる地域を形成していきます。

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり みやうち あかし  
広島西部山系直轄砂防事業 (宮内・明石地区)

事業促進

- ・ 廿日市市の宮内・明石地区は、地区内2溪流に砂防えん堤7基を整備し、下流に位置する住宅地等を土石流から守ります。
- ・ 平成20年代前半の地区全体での整備完了を目指し、事業を推進しています。
- ・ 平成21年度は宮内2, 4, 5, 7号砂防えん堤等の整備を実施します。
- ・ また、宮内4, 5, 7号砂防えん堤は、平成21年度中の完成を目指します。



土石流危険溪流の直下流に人家が存在する宮内・明石地区において、土砂災害対策を集中的かつ強力に推進し、安全で安心して暮らせる地域を形成していきます。

# 【トピックス27】(日常の護岸等の施設補修や維持管理による安全の確保)

事業費:556百万円

## ●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり 良好な河川環境の維持及び保全

●良好な河川環境の維持のために・・・

- ・堤防、高水敷除草
- ・塵芥処理、水面清掃
- ・河川内伐開、整正
- ・植栽管理
- ・河川巡視 等を実施していきます



除草工



塵芥処理



植栽管理(樹木剪定、病虫害駆除等)



水面清掃



伐開



期待される整備効果

適切な維持及び管理の実施で安全で豊かな暮らしの実現

# 【トピックス28】(日常の護岸等の施設補修や維持管理による安全の確保)

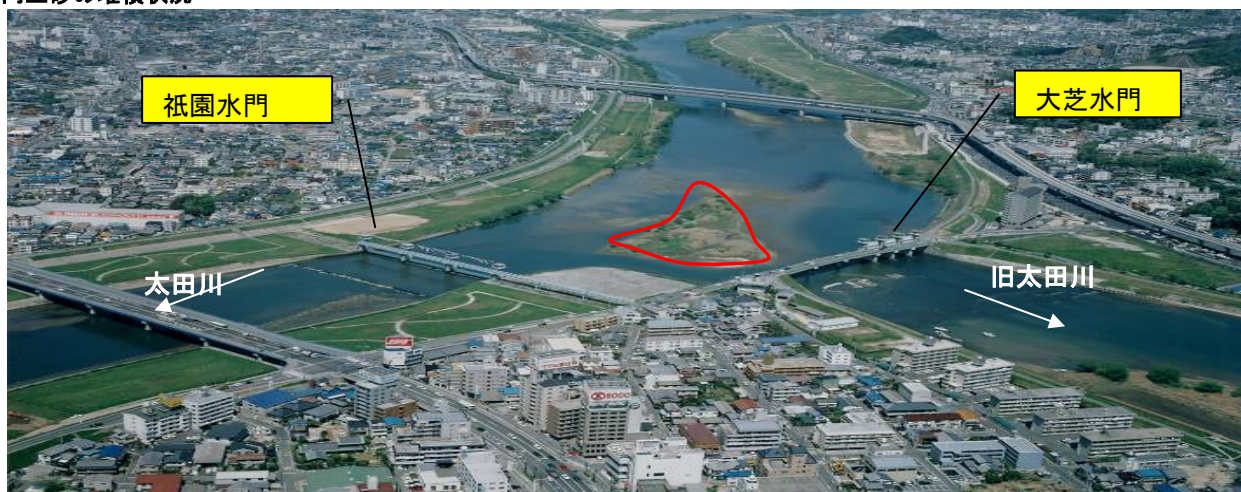
事業費:20百万円

●安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり

## 河道埋塞土砂撤去と河川管理施設等の維持管理

太田川ではH17の既往最大を含めH16~18の度重なる大出水により河道内の土砂堆積が著しく進行し、大芝・祇園水門箇所の分派点においても中州が上流に延伸すると共に水門上流部にも堆積は進み、植物の生育により陸地化も急速に進行しています。当箇所は洪水時には重要な分派箇所であり、流量配分を阻害することから緊急的な土砂撤去が必要とされています。

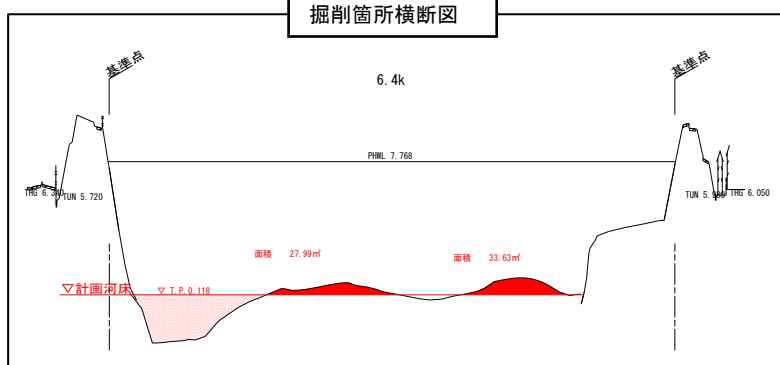
### 河道内土砂の堆積状況



### 河道内土砂の堆積



### 掘削箇所横断面図



## 【トピックス29】(水の都整備構想の推進)

### ●美しく豊かな自然・歴史・文化などを活かした地域づくり 水の都ひろしま

広島市は太田川デルタに市街地が形成され『水の都ひろしま』再生に向けて、つかう・つくる・つなぐの3つの基本方針のもと最近では整備された護岸等を利用して様々な取組みが行われ、新たな水辺での風物詩を創り出そうとしています。

水の都ひろしま再生に向けての3つの基本方針は下記のように策定されています。

**つかう** (市民による水辺の活用)

**つくる** (水辺空間整備とまちづくりの一体化)

**つなぐ** (水辺のネットワークと水の都の仕組みづくり)

水の都再生に向けて河川沿いの遊歩道の周遊性向上、球場跡地と連携した河川空間と都市空間の連続性の確保に向けた検討や、水辺のヘドロの改善実験などに取り組んでいきます。

### つかう：市民による水辺の活用



### つくる：水辺空間整備とまちづくりの一体化



### つなぐ：水辺のネットワークと水の都の仕組みづくり



## 【トピックス30】(水の都整備構想の推進)

●美しく豊かな自然・歴史・文化などを活かした地域づくり

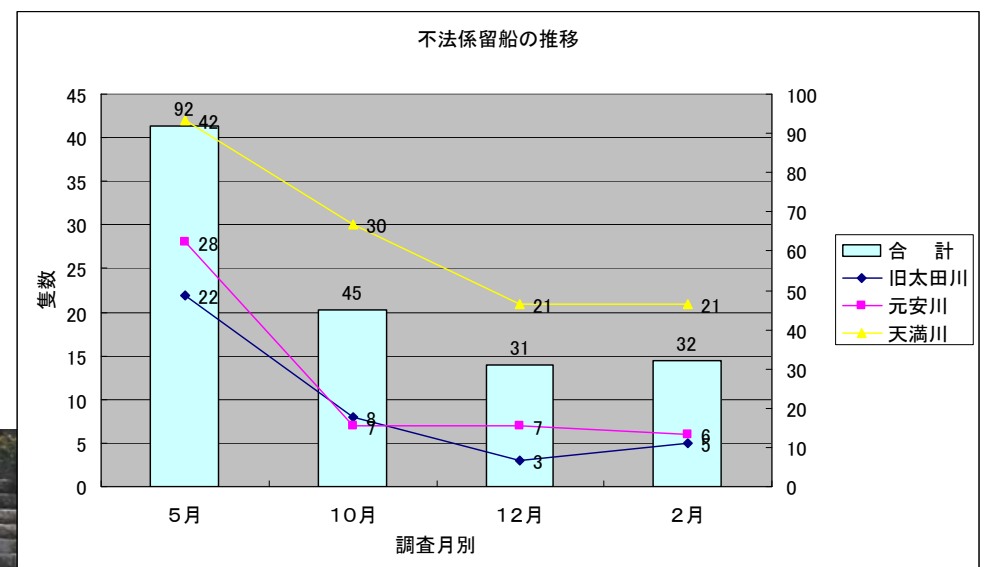
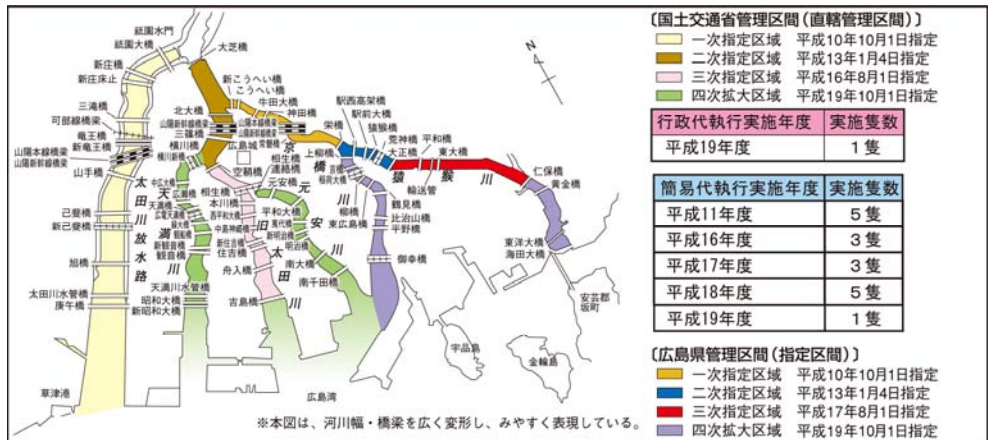
### 不法係留船対策の強化～不法係留船の強制撤去～

太田川河川事務所では、平成19年度に新たな係留施設が確保されたことを受け、全ての河道内を「重点的撤去区域」として指定し不法係留船の一掃に向けた指導取り締まりの強化を行ってまいりました。

また、第2次指定区間に残っていた不法係留船に対しては、中国地方整備局管内の直轄区間では最初になる「行政代執行」を実施し強制撤去をおこないました。

本年度は、河道内に残る2隻の船舶について「行政代執行」を視野に入れた指導により自主撤去を目指します。また、指定区間外の入江についても実態調査を実施し不法係留船の一掃を目指します。

今後とも不法係留船対策を推進する事により良好な河川景観の確保を行うと共に河道内に十分な航路を確保することが可能となり水上交通がより行いやすくなる事が予想され「水の都整備構想」の推進に大きな効果が期待されます。



直轄管理区間に不法係留されたプレジャーボートは、平成19年5月調査の92隻から平成21年3月現在で2隻と大幅に減少しており対策強化の効果がでてきております。



●美しく豊かな自然・歴史・文化などを活かした地域づくり  
旧太田川基町環境護岸での環境整備

広島市内の水辺空間の利用、整備、ネットワーク化を実現するために、国・県・市の3者は「水の都ひろしま」構想を策定し様々な取組みを行なっています。その取組みとして『泳げ遊べる川づくり』『水辺と街を一体的なデザインしよう』の実現を目指して、広島市内の旧太田川において、河川干潟の泥質を改善と川と周辺の周遊性向上に向けての検討を進めていきます。

現在の市内派川は下流に向かうに従って干潮時にはヘドロ状の干潟が出現し、親水性(川に近づく)機能の低下、河川の浄化能力の低下、生物生息環境の悪化、水辺環境の悪化を引き起こしています。

旧太田川の相生橋から上流の基町環境護岸は、土木学会デザイン賞の特別賞を受賞するなど景観的に高い評価を頂いていますが、干潮時になると黒色のドロが露出し景観を阻害しています。また、散策などの利用者が多い場所ですが、ヘドロによって人が水際に近づくことが出来ない状態となっています。

そのため、ヘドロの状の干潟の改善を行い、見た目や人や生物にとって良い環境となるよう水際のヘドロの改善を進めていきます。

また、基町環境護岸は、広島市の中心部に位置し世界遺産の原爆ドームや中央公園と隣接していますが、道路などに分断されているため、周遊性確保に向け検討を行っていきます。

底質改善



人が気軽に川とふれあえる場所の創出、生物環境の向上、景観の向上を行うため水際にたまった泥の改善を行い、親しみやすい水辺空間を目指します。

多いところでは50cm以上ヘドロが堆積し人が立ち入ると足首まで沈む。

基町環境護岸前のドロ干潟の状況

周遊性の向上の検討



広島中心部に位置し水の都にふさわしい景観を有している基町環境護岸



基町環境護岸と周辺の公園などとは道路で分断されている。

基町環境護岸は広島市の中心部に位置し、原爆ドームや中央公園、市民球場と隣接する好立地に有りますが、周辺とのアクセスが悪いため、周遊性を向上させ、親しみやすい水辺を目指します。

# 【トピックス32】(水の都整備構想の推進)

事業費:30百万円

## ●美しく豊かな自然・歴史・文化などを活かした地域づくり 太田川上殿地区における環境整備

安芸太田町地区上殿地区は、戸河内インターが立地し安芸太田町の玄関口として人々が行き交う場所となっています。周辺には道の駅が整備され、現在平成21年度完成を目途にパーク&ライドとして駐車場整備が行われているなど、地域の拠点とする場所です。また、太田川沿いには、良好な河川空間があると同時に、地元が管理する桜が植えてあり開花の時期には地域の交流の場として利用されているが、当該地区は水辺に近づけない状態です。そこで、散策道整備など水辺へのアクセス向上を図り、周辺施設との連携・一体となった水辺整備を行い、安芸太田町の玄関・交流拠点となるよう「にぎわいのある水辺」の創出に努めます。

平成21年度は、施設整備の検討及び設計を行います。



### 整備イメージ(案)

#### 全体イメージ(案)

